

平成 29 年度 木更津市健康づくり推進協議会 議事録

開催日時	平成 29 年 7 月 25 日 (火) 13:30~14:30	会場	朝日庁舎会議室 B
出席者 欠席者	健康づくり推進協議会委員 (13名) 千葉県君津児童相談所 中村委員 君津木更津薬剤師会 富沢委員 木更津市小中学校長会 吉本委員 木更津市社会福祉協議会 金網委員 木更津商工会議所 鶴岡委員		
事務局	高浦市民部長、小磯健康推進課長 山口副課長、加藤副主幹、地曳副主幹、榎本副主幹、山野寺副主幹、渡辺主査、時田主査		
記録者	時田主査		
事務局 (加藤)	<p>《 開 会 》</p> <p>これより、平成 29 年度木更津市健康づくり推進協議会を開催いたします。協議会議長は、神田会長となっております。</p> <p>それでは、協議会に先立ちまして、資料の確認をお願いします。</p> <p>資料は、先に郵送させていただきました会議次第、第 3 次健康きさらづ 21 概要版と会議資料、本日お配りしました委員名簿、座席表、木更津市健康づくり推進協議会要綱でございます。</p> <p>よろしいでしょうか？不備がございましたらお申し出ください。</p> <p>皆さんよろしいでしょうか？</p> <p>それでは神田会長、よろしく願いいたします。</p>		
神田会長	<p>ただいま、ご紹介いただきました君津木更津医師会副会長の神田でございます。議長を務めさせていただきます。よろしく願いいたします。</p> <p>ただいまより平成 29 年度木更津市健康づくり推進協議会を開会いたします。</p> <p>本日の会議は、委員 18 名中 13 名の出席をいただきました。木更津市健康づくり推進協議会要綱第 6 条第 2 項の規定により、会議は成立いたしました。</p> <p>会議に先立ちまして、皆さまにお諮りいたします。</p> <p>木更津市審議会等の会議の公開に関する条例第 3 条の規定により、この会議は公開することが原則となります。</p> <p>本日の議題につきましては、同条例の非公開事由には該当しないため、本日の協議会について公開することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>《 異議なしの声 》</p> <p>それでは、この会議については公開とします。</p> <p>平成 28 年 3 月に新たに「第 3 次健康きさらづ 21」が策定され、本日は 28 年度の取組み結果と今後の方向性について、説明があります。</p> <p>委員の皆様には、健康づくりのための事業を客観的に検討し、よりよい展開のため、ご</p>		

<p>事務局 (山口)</p> <p>神田会長</p>	<p>意見をいただきたいと考えております。ご協力のほどよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、議題(1)「健康づくり推進協議会について」概要説明を事務局よりお願いいたします。</p> <p>健康推進課山口と申します。私の方から木更津市健康づくり推進協議会について説明させていただきます。</p> <p>本日お配りさせていただきました資料「木更津市健康づくり推進協議会要綱」の1頁をご覧ください。</p> <p>木更津市健康づくり推進協議会とは、第1次国民健康づくり対策を受けまして、第1条にありますとおり、市民一人ひとりが自分の健康は自分でつくることを基本に、生涯を通じて健康づくりを総合的かつ効率的に実施するため、昭和54年に設置された協議会でございます。</p> <p>委員構成は、第3条でございます関係行政関、保健医療機関団体、健康づくり関係団体、住民のそれぞれ代表者18名でございます。</p> <p>委員の任期は、第4条第1項でございます2年となりますので、同条第2項の規定により本日委嘱させていただいた3名の皆様を含めまして、皆様の任期は、平成30年6月30日までとなります。</p> <p>協議会の所掌事務でございますが、戻りまして第2条でございますとおり、「健康きさらづ21」の策定及び進捗管理をするとともにその評価を行うこととなっております。</p> <p>「健康きさらづ21」とは、市の健康増進計画が合わさったものでございます。</p> <p>現在は、昨年度からスタートしている第3次の計画が実行されているところでございます。</p> <p>資料の3頁をご覧ください。計画は、関係各課や関係団体等が協力をして進めていくことが必要でありますことから、ここに記されております、</p> <p>(1)健康づくり推進協議会 (2)健康きさらづ21推進委員会 (3)部会 (4)健康づくり推進協議会事務局の4つの部門がそれぞれの役割を担って進めていくこととされております。そのイメージ図が、次の頁でございます。</p> <p>下の方に示されているものから、一番上に記載されている目標に向かっていくイメージです。</p> <p>また、進行管理については、次の頁でございます。PDCAサイクルのイメージ図ですが、本協議会の役割は真ん中より少し下のところに示されております。</p> <p>以上、簡単ではございますが、本協議会についてのご説明とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>議題(2)の「第3次健康きさらづ21」計画概要について事務局から説明をお願いします。</p>
---------------------------------	---

<p>事務局 (地曳)</p>	<p>健康推進課地曳でございます。よろしくお願ひいたします。それでは、私の方からは第3次健康きさらづ21概要について説明させていただきます。</p> <p>皆様にお配りしております第3次健康きさらづ21概要版、カラー刷りの冊子をご覧ください。その1ページ目を開けていただきまして、A3の資料をご覧ください。そこの一番左に、第2次健康きさらづ21、そして下に「木更津市健康増進計画」と丸で囲まれております。</p> <p>健康増進計画は、平成14年8月に公布された健康増進法第7条において、『国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針を定めるものとする』として、国は国の健康増進計画である「健康日本21」を策定しました。</p> <p>また、第8条に都道府県の健康増進計画と市町村健康増進計画の策定が示されたことから、千葉県が「健康ちば21」を、木更津市は「健康きさらづ21」を策定しました。健康きさらづ21の第1次計画は平成18年3月に、第2次計画は平成24年3月に、そしてこの第3次計画は平成28年3月に策定いたしました。</p> <p>もう一度このA3の折り込み資料の一番上をご覧ください。「第3次健康きさらづ21計画の構成」と書かれております。</p> <p>その下に目標と期間が書かれている次の段に、4つの計画が書かれております。</p> <p>第3次健康きさらづ21の大きな特徴となっております、先ほど説明いたしました「健康増進計画」を第1篇とし第2篇に「母子保健計画」、第3篇に「食育推進計画」、そして第4篇に「歯科保健計画」と、この4つの計画を健康きさらづ21の部門計画として位置づけ、それぞれの計画を推進することで、一番上に記載されております本計画の目標の「健康寿命の延伸・健康格差の縮小」を目指しているところです。</p> <p>第2次健康きさらづ21までは健康増進法に基づいた健康増進計画として食育と歯科を含めた5分野で推進していましたが、食育推進計画は食育基本法で、歯科保健計画は口腔保健法でそれぞれ策定が努力義務となっていることから、健康増進計画から独立させ健康きさらづ21の部門計画として策定いたしました。</p> <p>また、母子保健計画につきましては、平成8年度に母子保健計画策定指針に基づき第1次母子保健計画を策定し、それ以降、第3次母子保健計画までは単独計画として策定していましたが、第4次計画は「木津市次世代育成支援行動計画」の中に包含し、第5次計画はこの第3次健康きさらづ21の策定に合わせて、健康きさらづ21の部門計画として策定いたしました。</p> <p>4つの計画の趣旨・基本方針・主な取り組み等は、「第3次健康きさらづ21 概要版」をご覧ください。第3次健康きさらづ21の概要につきましては以上でございます。</p>
<p>神田会長</p>	<p>ただいまの説明にご質問・ご意見をお願いします。</p> <p>《質問等なし》</p> <p>それでは、議題(3)「取組み内容及び達成状況」について、事務局からお願いします。</p>

<p>事務局 (渡辺)</p>	<p>議題3の1 各部会の取り組みについて説明させていただきます。</p> <p>資料5ページをご覧ください、計画の効果的な推進及びネットワークを図るため、4つの部会を通して活動をしていきます。最終的には、健康きさらづ21推進委員会に、計画遂行の進捗状況報告や提案をし、今回の健康づくり推進協議会の皆様におはかりします。</p> <p>部会委員は、市の職員で構成されておりますが、部会の検討内容によっては、外部の有識者を呼んで意見を聞くなど自由な裁量で運営していく仕組みとなっております。</p> <p>去る7月13日に第一回の健康きさらづ21推進委員会が開催され、各部会より昨年度の取り組みや今後の方針が出されましたので報告させていただきます。</p> <p>A3横サイズの資料をご覧ください。</p> <p>まず、子どもの健康づくり推進部会ですが、基本方針は、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策 2) 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策 3) 子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり 4) 育てにくさを感じる親に寄り添う支援 5) 妊娠期からの児童虐待防止対策 　　です。 <p>このうち1)と2)を中心に</p> <p>子どもの基本的な生活習慣の確立のため、「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発を、乳幼児期から中学生まで一貫して行うこと、小児生活習慣病予防健診の事後指導を関係各課で連携し、発展させていくことについて、妊婦から小中学生までの健康に関わりの大きい子育て支援課、学校教育課、学校給食課、学校給食センター、小中学校の栄養士、養護教諭、公民館、健康推進課が各所属で取り組んでいます。</p> <p>平成28年度の部会活動は、下準備の年として「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発活動を各部署で一貫して行うことを確認しあい、キャッチフレーズとロゴマークを作成しました。また、木更津市養護教諭部会と協力し、小児生活習慣病予防指導マニュアルを増刷して、学校教育課より市内小中学校に配布いたしました。</p> <p>今年度は「早寝・早起き・朝ごはん」をテーマとした教育を、各所属で意識的に継続、実施してまいります。ロゴマークやキャッチフレーズを、保護者宛の文書や封筒に表示したり、ポスターを作製して、各所に掲示するなどし、「早寝・早起き・朝ごはん」が意識付けされるよう広く周知していきます。</p> <p>また、小児生活習慣病予防健診にかかる指導については、各学校の実情に合わせて、より効果的な指導を行っていただけるよう、市内各小中学校・学校教育課・学校給食課・給食センター・健康推進課が連携しあい取り組みます。その取り組みの中で、指導マニュアルの精査を行い、より充実した資料にしていきたいと考えております。</p> <p>次に働きざかりの健康づくり推進部会ですが、この部会では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活習慣の改善・社会環境の整備 2. 生活習慣病の発症予防と重症化予防 <p>の二つの基本方針に沿って、公民館・スポーツ振興課・保険年金課と・健康推進課職員</p>
---------------------	---

で構成された委員で活動を行なっています。

平成 28 年度は二つの活動を行ないました。

一つ目に、市民が健診を受けやすい環境整備の推進として、全国健康保険協会（協会けんぽ）千葉支部と「木更津市民の健康づくり推進に向けた包括的連携事業に関する協定」を締結いたしました。

協会けんぽは、中小企業を中心に国民の 3.4 人に 1 人となる 3800 万人が加入している日本最大の医療保険者で、木更津市でも 1,386 事業所、約 3 万人が加入しています。その協会けんぽと協定を締結し、木更津市民の健康づくり推進に向け、相互協力が可能な分野について、連携・協力して活動をしていくこととなりました。

二つ目に、企業に対する健康教育の実施を目指し、商工会議所青年部の担当者との打ち合わせを行ない、市の働きざかり世代の健康実態を伝えました。

昨年度の活動を踏まえ、今年度は、国民健康保険被保険者のみを対象としている特定健診の集団健診に、協会けんぽの被扶養者も受診できる環境を整え実施していく予定となっています。また、7月9日に行なわれた「きさらづ健康ウィーク」のメインイベントにおいても協会けんぽに血管年齢測定の協力をいただき、多くの来場者がありました。今後も健康づくりに関する様々な分野で相互に協力を行ないます。

また、企業に対する健康教育についても、今年度は、実際に健康教育を実施できるよう調整を行なっていきます。

続いて、こころの健康づくり推進部会です。担当課は市民活動支援課、高齢者福祉課、社会福祉課、障害福祉課、子育て支援課、学校教育課、まなび支援センター、健康推進課です。

基本方針は、一人ひとりがこころの健康問題の重要性を認識するとともに、自らのこころの不調に気づき、適切に対処できるようにすることです。

平成 28 年度は 27 年度に引き続き、市内中学校 5 校に命を大切にする講演会を実施いたしました。これは自殺対策強化基金事業として実施したものです。

また、部会で作成いたしました、市職員用の窓口対応マニュアルの周知を検討しました。悩みを抱えた人が適切な窓口につながるよう、最初に対応した職員が相手の抱えている問題に気づき、つなげられる力を持てるように研修を企画する事としました。

平成 29 年度については、本研修の実施に向けて、講師の決定、職員課との協議、また、窓口対応マニュアルに掲載された、統計資料やつなげる先の情報が最新のものとなるよう、見直していきます。中学校に対する命を大切にする講演会につきましても、引き続き、今年度は 5 校に対し、実施していきます。

最後に食育推進部会ですが、この部会では、食育推進計画の基本理念である「健やかな体と豊かな心を獲得するための食行動ができ、次世代につなぐことを目指します。」を実現するために、

- (1) 健やかに育てよう伝えよう ～食に関する習得～
- (2) 食の知識・体験を深め、選択力をつけよう～食に関する理解～
- (3) 健やかな体を獲得するための食生活を実践しよう～健全な食生活の実践～

の3つの基本方針に沿って活動しています。

平成28年度の各担当課の取り組みは、子育て支援課では、各園栄養士配置の強みを生かした地域特性、家庭環境等を捉えた各園ごとの給食便りを作成配布、啓発活動を行いました。

農林水産課では、ホームページやフェイスブックで、関連イベント情報の発信等や木更津市オーガニックフェスティバル2016を始め食育関連イベントで、食育を推進してまいりました。

学校では「学校給食を活用した地域活性化事業」、において、学校給食の地元生産品の活用と循環への取り組み及び食育指導の実施し、食器の整備も進めてまいりました。

生涯学習課、高齢者福祉課では、公民館や高齢者サロンでの食育を推進し、健康推進課は、各種健診や教室、イオンモール木更津、健康ウィークなどの食育イベント、庁内フードモデルの展示、減塩みそ汁を配布し食育を推進してまいりました。

部会では、食育の歌完成に向け、CD化を進めています。

また、どの年代も通じるチラシを検討し、作成しました。皆様のお手元にある物が完成品で、先頃行われた健康ウィークで配布いたしました。

テーマを「朝ごはん」にし、どの年代も簡単に朝ごはんが用意でき、食べる行動に結びつくようなレシピを毎年更新し、掲載していきます。

裏面には、千葉県が10月にチラシ、ポスターを作成配布して食育推進している、「朝ごはん」ちゃんと食べた？を活用することにし、県の食育推進と一体的に進めていきます。

今後、レシピを毎年更新し、最終的に冊子にすることを目標としています。

食育は多方面にわたっており、各課での地道な活動と合わせ、各課との連携を図りながら、部会として啓発活動を進めてまいります。

部会の報告は以上です。

事務局
(山野寺)

続きまして、健康推進課の山野寺と申します。「第3次健康きさらづ21 ライフステージ別健康目標及び平成28年度結果」A3の縦長の説明資料をご覧ください。

これは、第3次健康きさらづ21が計画の目指すべき健康目標を掲げている表です。

計画の最も特徴的などころで、本日は、平成28年度の実施結果の主な項目を説明させていただきます。

表の左側「ライフステージ」をご覧ください。

1ページが妊娠・胎児期、めくっていただきましてその下が乳幼児期、2ページ目、下の方に学童期・思春期、3ページ目、下が成人期・老年期、最後の4ページが成人期・老年期という構成になっております。

再度1ページに戻っていただきまして、いくつか項目を追っていきたいと思います。

妊娠・胎児期、上から3段目、例えば「妊娠中の妊婦の喫煙率の減少」を目標としています。計画作成時、平成26年度は7.4%の喫煙率でした。平成28年度の結果では、2.6%と減少していることがわかります。また、逆に項目として悪くなっているものとして、2つ下の、妊婦健康診査結果、高血圧140/90以上の妊婦が3.1%から4.7%と逆に増加しています。妊娠中にタバコを吸ったり、高血圧があることにより

未熟児、低出生体重のお子さんが生まれる可能性が高くなります。妊婦健診の1つ下の「全出生数中の低出生体重児の割合の減少」を見ていただきますと、いずれも平成26年度と比べ、平成28年度は若干減少しています。引き続きタバコの害や高血圧の予防をしながら、小さく生まれる赤ちゃんの出生を予防していく活動が必要と考えております。

続きまして、乳幼児期の真ん中、「21時までには寝ている者の割合の増加」です。先ほどの部会の方でも、「早寝・早起き・朝ごはん」という項目がありましたが、21時までには寝る子どもを増やしたいということですのですすめています。

乳幼児期は生活習慣の基礎を作り上げるとても大切な時期です。昨今の子ども達の生活は夜型となっており、早寝早起きがなかなか推進できないところです。1歳6か月の健診を見ていただきますと、平成26年度は67.9%から平成28年度は68.8%と増えております。3歳児の健診でも59.8%から60.3%と増えています。しかし、目標となる80%以上にはまだ到達していません。引き続きの推進が必要です。1点見ていただきたいのが、1歳6か月では68.8%であるのに対し、3歳になると60.3%とその割合が減っているということにご注目いただきたいと思います。段々夜更かしくなってきたことがわかると思います。

続きまして、そのように夜遅くまで起きていることで生活リズムの乱れなどから、食事を遅く摂るなど、肥満などに至ることがあります。

上に3つ上がっていただきまして、「肥満の減少」の項目をご覧ください。

1歳6か月児健診では、男女共に目標とする10%以下はキープできています。ただ、3歳児の女児につきましては、逆に5.8%から8.4%と増えている現状もあります。

次に2ページをご覧ください。

食に関しての項目をいくつかのせています。上から6段目、「朝食を欠食する者の割合の減少」をご覧ください。朝食を食べましょうということを推奨しています。1歳6か月児健診では、平成26年度1.4%から平成28年度は0.8%に減っています。朝食を食べない人が減っています。食べない生活を脱していきたいということです。3歳児健診においても、平成26年度1.2%から平成28年度1.8%と逆に増えている現状もあります。

同じように1歳6か月児健診から3歳児健診にかけて、平成28年度結果を見てみると、0.8%から1.8%と3歳児に食べない割合が増えているという現状があります。しかも保育園の食に関するアンケートをとったところ、1.5%の子が朝食を食べないで保育園に通っている現状もあります。

続きまして、1つ下の項目、「主食・主菜・副菜を取り揃えて食べている者の割合の増加」、バランスよく食べていますか?という項目です。目標とするところは全て75%以上となっていますが、いずれもまだまだ到達していない現状でありますので、バランスよく食べましょうということの指導も引き続き行なっていきたいと思っております。

次に学童期・思春期です。

小児生活習慣病予防健診という血液検査をする健診が小学4年と中学2年にあります。そこで高LDLという項目があるのですが、悪玉のコレステロールの値をみています。この項目が小学4年、中学2年ともに平成27年度の結果より悪くなっています。既に小中学校で血液の変化が表れていることが伺うことができます。更に、下から2段目に、「朝食を欠食する者の割合の減少」も先程の乳幼児期と同じように、小学校、中学校でも学校給食実施状況調査というものでとっています。こちらも0%に近づけたのですが、食べない子達が増えてきている現状がわかると思います。

次に3ページをご覧ください。上から2段目、毎月19日は「食育の日」というのは皆さんご存知でしょうか。この「食育の日」を意識しましょうということで周知を図っています。平成27年度の計画時より徐々に周知度は高くなっています。

1つ下の「小児生活習慣病予防健診の結果」で医学的管理、要経過観察、要生活指導となったお子さんに対して、個別指導を実施している学校数の増加を目指しています。平成27年度の実施校小学校16校、中学校8校に対して、平成28年度では小学校で17校、中学校では全校で実施し、個別指導の充実を図っています。

運動に関してですが、4つ下、「運動やスポーツを習慣的にしている者の割合」を小中学校での運動能力テストにおいて、目標とする40%以上を既に上回っています。また、地産地消ということで、「学校給食における地場産物の使用割合の増加」では、使用割合は平成27年度26.9%から平成28年度42.3%に増加しています。

続きまして、成人期・老年期です。3ページの下3つをご覧ください。

「メタボリックシンドローム該当者の減少」または「予備軍の減少」、「肥満（BMI 25以上）の減少」というところで、30歳代の方に若年期健診という血液検査を実施しております。また、国保加入者の40歳から74歳までの特定健診を行なっていますが、こちらの方達の健診結果は年代によって良くなったり悪くなったりしておりますが、引き続きこちらも生活習慣病発症予防ということで重点的に、所見のある人には個別指導を充実させている現状です。

続きまして4ページをご覧ください。

先程個別指導を充実させているというお話をさせていただきましたが、上から4つ目の「重症化予防保健指導実施率の向上」をご覧ください。重症化予防とは何ですかと聞かれるのですが、既に糖尿病や高血圧、脂質異常などで治療をしているのですが、なかなか上手くコントロールできていない状況で悪化し、合併症を起こすという方々を予防するために保健指導を実施しています。平成26年度81.2%、平成27年度82.9%と増加しています。

1つ下がります「高血圧の割合の減少」という項目でも5.5%から5.6%に増えている、また、3つ下に下がっていただいて、血糖コントロールを見る指標として、へ

	<p>モグロビンエーワンシー（HbA1c）という今主流になっている言葉ですが、HbA1c 8.0以上の方を減らしましょうということです。HbA1c 8.0以上は合併症が起こるような値なのですが、こちらの方を少しでも減らしていきましょうという、こういった取り組みが、4ページが一番最後「介護認定率増加の抑制」、脳梗塞や心筋梗塞という様々な生活習慣病が悪化することによって介護になったりするようなことを防ぐといったことに連動しているような取り組みになっています。</p> <p>ちなみに、介護認定率は1号認定者が17.2%から19.5%と、認定される方が多くなっている現状です。</p> <p>中段の方に戻っていただきまして、「年間新規透析導入患者の減少」という項目がありますが、こちらは、新しく1年間で透析になった方が平成26年度30人だったところが、平成28年度では34人と増えております。新しく透析になった方を何の病気を持っていたか調査したところ、7割の方が糖尿病と高血圧を持っていて、そちらが重症化しているという現状にあります。こちらも引き続き予防する対策をとっているところであります。</p> <p>また、成人におきましては食に関して、「朝食を欠食する者の割合の減少」では、特に30代の男性では平成27年度32.8%が平成28年度36.8%と約4割弱の方が朝食を食べていない現状も伺えます。</p> <p>他に歯科に関してですが、「未処置歯を有する者の割合の減少」は平成26年度から40歳、60歳共に減少しています。</p> <p>また、「過去1年以内に歯科健診を受診した者の割合の増加」も増加している現状があります。</p> <p>以上、私の方から各項目をいくつか説明させていただきました。すべての項目は説明できませんが、ライフステージ毎の指標を引き続き目標に近づけるために、各事業を推進していく、また、各団体と協力して目標達成に向かっていきたいと考えております。以上です。ありがとうございました。</p> <p>神田会長 資料には番号をふっておいて下さい。 以上で説明が終わりました。ご質問ご意見をお願いします。</p> <p>佐久間委員 今説明していただいたA3縦の資料の2ページ目の「子どもを虐待していると思う親の割合の減少」ですが、3歳児健診で半数近い親が虐待していると思っているというのは多い気がするのですが、こういった風に数字を管理しているのですか？</p> <p>事務局(山野寺) こちらは乳幼児健診の中で限った調査になります。この数か月の間に、子どもに対して「しつけのし過ぎ」「感情的に叩く」「乳幼児だけを家に残して外出」「長時間食事を与えない」「感情的な言葉で怒鳴った」という質問項目にいずれか該当した者をこちらの</p>
--	--

	<p>項目に載せさせていただいております。それは1年間ではなく、健診である一定の期間で集計した値となっております。ですから、叩くということでは、思わず叩いてしまったというのも入っているので、高くなってしまったかと。イコール虐待という訳ではなく、私達の二次質問でも、叩いたとはどういう形ですか？と確認し、思わずとかイライラしてしまったとか、虐待という形ではないと思うのですが、集計としてこのような項目もあげさせていただいております。</p>
神田会長	<p>「虐待していると思う」とあるが、「虐待している」と書くと、思わず叩いてしまった、虐待しちゃったというのはまた違うのかなとも思います。</p>
佐久間 委員	<p>思わず叩いてしまったというのも入っているということで、それを虐待の部分に入れてしまうと結構重い表現かと思いますけど。</p>
事務局 (山野寺)	<p>予防という観点での1つの項目ではあるという部分があります。叩いたから虐待という訳ではなく、そういったことをできるだけ未然に防ぐということで、こちらも注目して保健指導しましょう、丁寧に取り組んでいこうということが含まれています。</p>
神田会長	<p>では、他に意見はありますか。 《委員：なし》</p>
神田会長	<p>意見等はないようですので、その他事務局ありますか。 《事務局：なし》</p>
神田会長	<p>ないようですので、本日の議事を終了させていただきます。 以上を持ちまして、「平成29年度木更津市健康づくり推進協議会」を閉会させていただきます。 長時間にわたるご審議、ありがとうございました。 《 閉 会 》</p>